

キャリアパス委員会 =男女共同参画×若手教育問題

生命科学領域の中で「分子生物学」は比較的新しい分野ですが、その発展は目覚ましく、社会にも非常に貢献しています。一方、分子生物学会に属する若手研究者がおかれる状況は男女共に、今なお、決して満足いくものではないことも周知の事実です。キャリアパス委員会では、若手研究者を取り巻く数多くの問題を、男女共に提起・分析し、軽減そして解消することを目指します。

これまでの年会企画



2013年

2014年

学会ホームページでこれまでのランチョンセミナーの全文記録・映像資料やキャリアパス対談などをご覧いただけます。

2017年の委員会活動

- 日本分子生物学会キャリアパス委員会 / 日本生化学会男女共同参画推進委員会 共同企画ランチョンセミナー

「研究者人生における
様々な選択肢」

日時：2017年12月9日 (土)

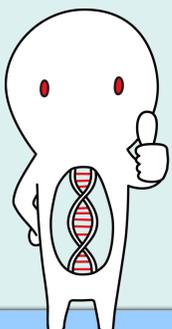
11:45~13:15

会場：神戸ポートピアホテル

本館地下1階 和楽 (第4会場)

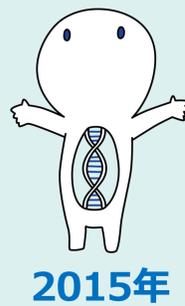


- ランチョンセミナー事前アンケート実施
- 年会 (ConBio2017) の演題投稿者における属性調査
- 年会託児室利用者へのアンケート実施
- 男女共同参画学協会連絡会に参画
- 「女子中高生夏の学校~科学・技術・人との出会い~」企画・実験・実習等参加協力 (主催:国立女性教育会館)



第20期委員(2017-18)

小林武彦 (委員長)、井関祥子、大谷直子、加納純子、夾生 (道下) 江利子、木村 宏、胡桃坂仁志、斉藤典子、中川真一、花嶋かりな、山本 卓



2015年



2016年